

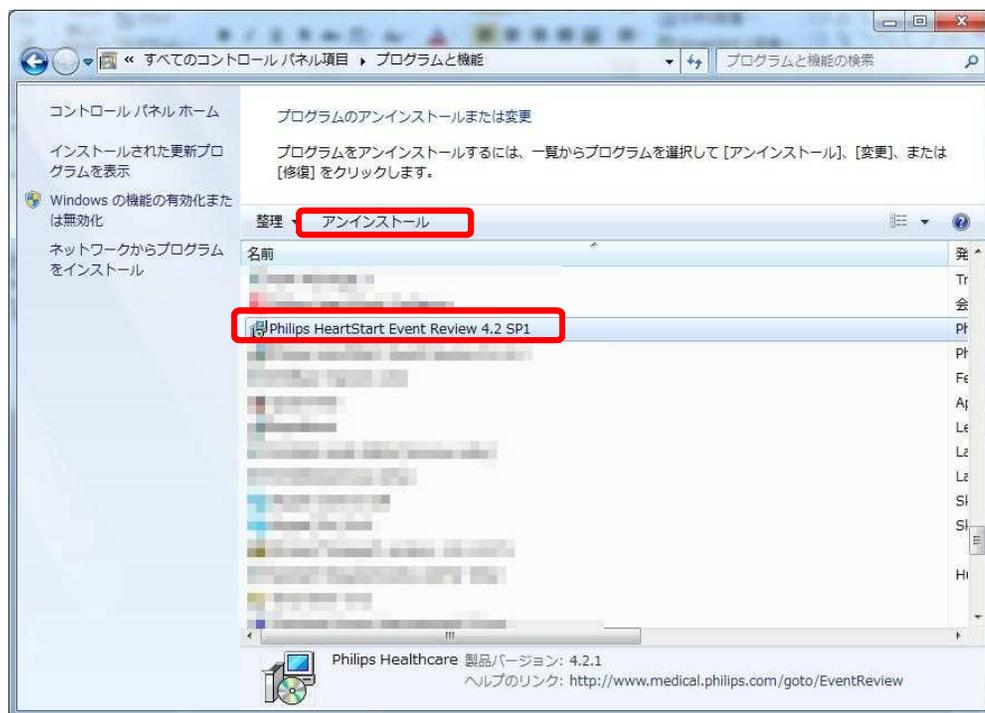


**Laerdal**  
helping save lives

# 「データベースがありません」とエラーが表示された際の Event Review 4.2 再インストール方法

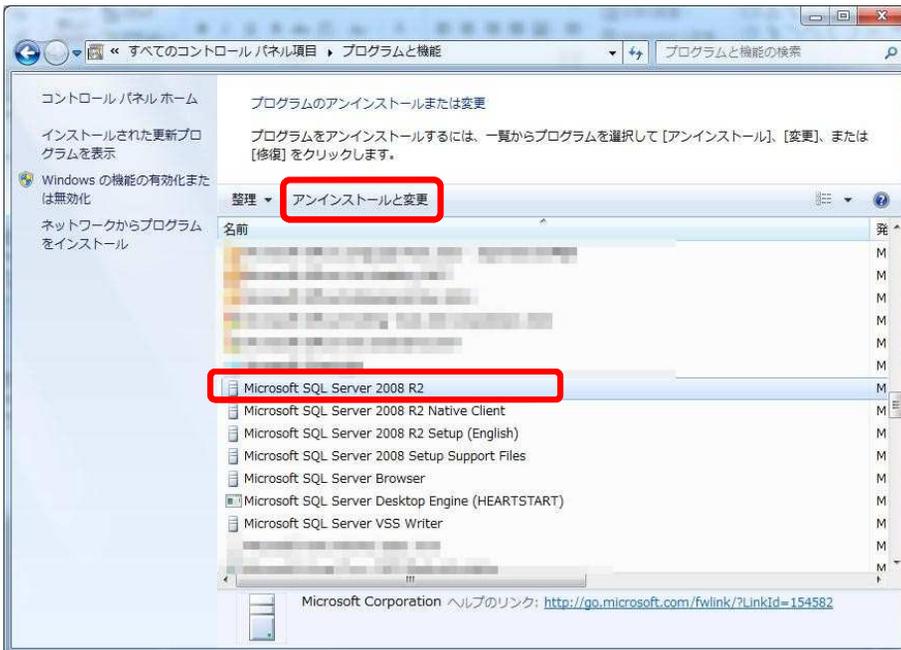
レールダル メディカル ジャパン株式会社  
2013年12月

- Event Review 4.2 のアンインストール
  - コントロールパネル内の「プログラムと機能」(Windows 7の場合)から「Philips HeartStart Event Review 4.2」をアンインストールします。





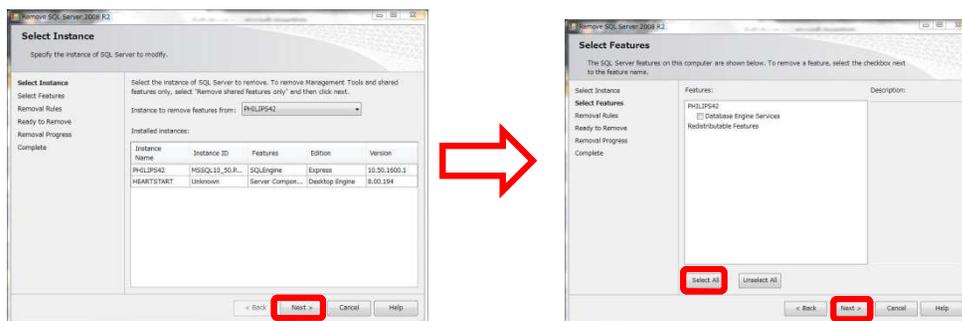
- Microsoft SQL Server 2008 R2 のアンインストール
  - 「プログラムと機能」の中から「Microsoft SQL Server 2008 R2」を削除します。
  - 「Microsoft SQL Server」と名前がつくファイルがいくつかありますが、「Microsoft SQL Server 2008 R2」のみ削除して下さい。



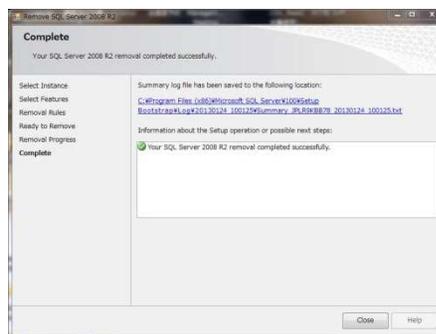
※前回のインストールがうまく  
いない場合はMicrosoft  
SQL Server 2008 R2 が表  
示されません。その場合は5  
ページにお進み下さい。

## SQL Server 2008 R2のアンインストール ②

- 「Next」で進み、「Select Features」の画面で「Select All」のボタンをクリックし、「Next」と進んでください。



- 「Next」をクリック進んでいくとアンインストールが完了します。完了したらPCを再起動してください。



- Event Review 4.2 のフォルダを削除します。
  - C:¥Program Files¥Philips¥HeartStart (32 ビットOSの場合)
  - C:¥Program Files (x86)¥Philips¥HeartStart (64ビットOSの場合)

上記フォルダ内に「Event Review 4.2 (SP1)」というフォルダがあるので、それを削除して下さい。



## Microsoft SQL Server内のフォルダ削除

- Microsoft SQL Server内のフォルダを削除します。
  - C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server (32ビットOSの場合)
  - C:¥Program Files (x86)¥Microsoft SQL Server (64ビットOSの場合)

上記フォルダ内に「MSSQL10\_50.PHILIPS42」というフォルダがあるので、これを削除して下さい。**これ以外のフォルダは削除しないでください。**



- ここまでの作業が終了したら、**PCを再起動**して下さい。

- 下記アドレスよりSQL 2008 Express R2をダウンロードして下さい。  
(32ビットOSの場合「SQLEXP32\_x86\_ENU.exe」  
64ビットOSの場合「SQLEXP\_x86\_ENU.exeを選択してください。)

**Download:** <https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=26729>

- 上記に接続しますと次「セキュリティで保護された Web ページコンテンツのみ表示しますか?」と表示されますので「はい」をクリックします。



※この画面が表示されない場合もご  
ざいます

## SQL Server 2008R2 のダウンロード②



Microsoft  
Download Center

製品 カテゴリ セキュリティ サポート 購入

Microsoft® SQL Server® 2008 R2 SP1 - Express Edition

言語を選んでください: **日本語** **ダウンロード**

無料の更新プログラム

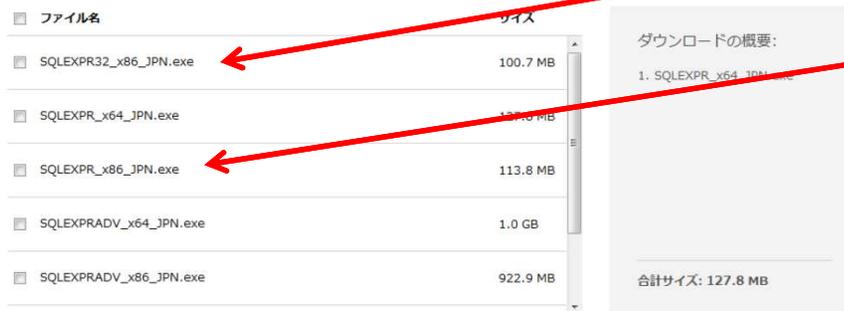
- セキュリティ更新プログラム
- ソフトウェア更新プログラム
- Service Pack
- ハードウェア ドライバー

Microsoft Update の実行

Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Service Pack1 は、開発および配置するための豊富な機能を備えた無償のデータベースです。

以下の画面が表示されますので、「日本語」を選択し、「ダウンロード」をクリックします

ダウンロードするプログラムを選んでください。



ファイル名	サイズ
<input type="checkbox"/> SQLEXP32_x86_JPN.exe	100.7 MB
<input type="checkbox"/> SQLEXP_x64_JPN.exe	127.8 MB
<input type="checkbox"/> SQLEXP_x86_JPN.exe	113.8 MB
<input type="checkbox"/> SQLEXPADV_x64_JPN.exe	1.0 GB
<input type="checkbox"/> SQLEXPADV_x86_JPN.exe	922.9 MB

ダウンロードの概要:

1. SQLEXP\_x64\_JPN.exe

合計サイズ: 127.8 MB

**次へ**

32ビットOSの場合

「SQLEXP32\_x86\_JPN.exe」

64ビットOSの場合

「SQLEXP\_x86\_JPN.exe」を選択してください。

※XPIは概ね32bitです

※一度でDLが出来ない場合もございます。何度かお試し下さい。

「次へ」をクリックします。

 ダウンロードしていただき、ありがとうございます。

Microsoft® SQL Server® 2008 R2 SP1 - Express Edition

30秒経ってもダウンロードが開始されない場合は、[こちらをクリック](#)

 インストール方法

無料の更新

- セキュリティ
- ソフトウェア
- Service Pack
- ハードウェア

「こちらをクリック」  
をクリックします。

ダウンロードされていないファイルを選んでください

ファイル名	ダウンロードリンク	サイズ
<input type="checkbox"/> SQLEXP32_x86_JPN.exe	<a href="#">こちらをクリック</a>	100.7 MB
<input type="checkbox"/> SQLEXP_x64_JPN.exe	<a href="#">こちらをクリック</a>	127.8 MB
<input type="checkbox"/> SQLEXP_x86_JPN.exe	<a href="#">こちらをクリック</a>	115.6 MB
<input type="checkbox"/> SQLEXPADV_x64_JPN.exe	<a href="#">こちらをクリック</a>	1.0 GB
<input type="checkbox"/> SQLEXPADV_x86_JPN.exe	<a href="#">こちらをクリック</a>	922.9 MB

ダウンロードの概要:

1. SQLEXP\_x64\_JPN.exe

合計サイズ: 127.8 MB

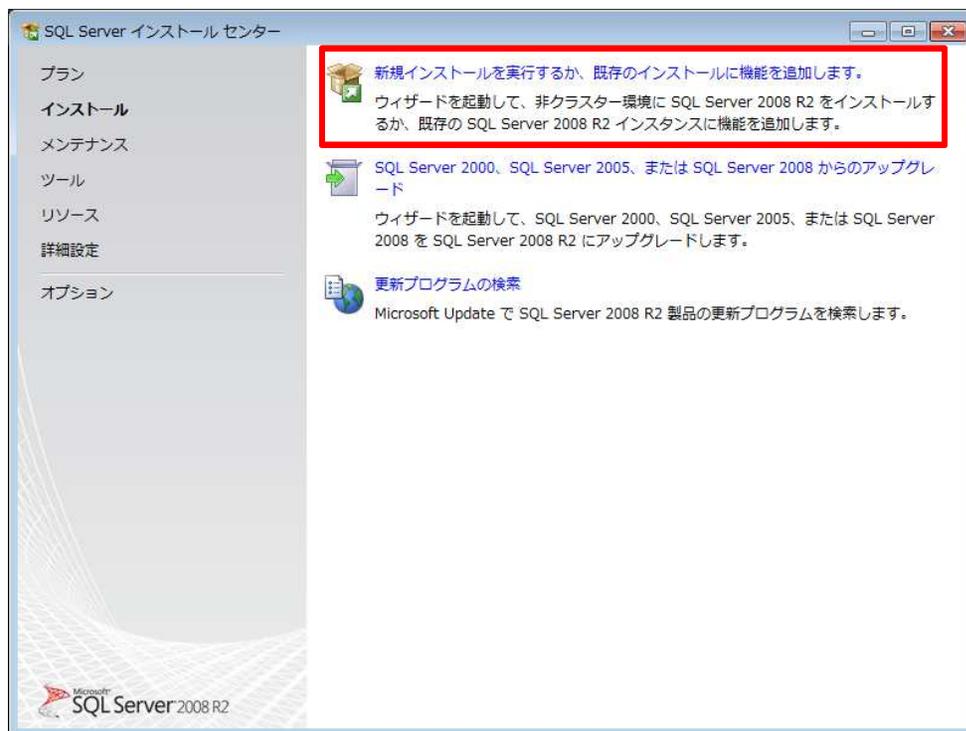
さらに  
「こちらをクリック」  
をクリックします。

32ビットOSの場合

64ビットOSの場合

※この後、ダウンロードが、はじまりますので、デスクトップ等に保存をお願いします。

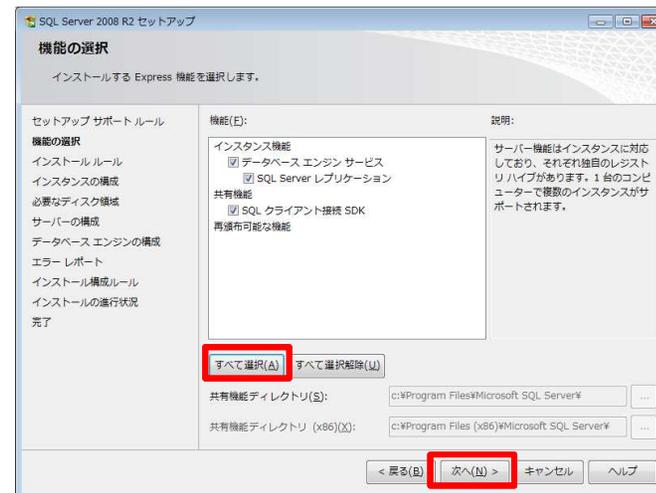
- デスクトップにコピーしたファイルをダブルクリックします。
- 以下の画面が表示されますので、「新規インストールを実行するか、既存のインストールに機能を追加します」をクリックします。



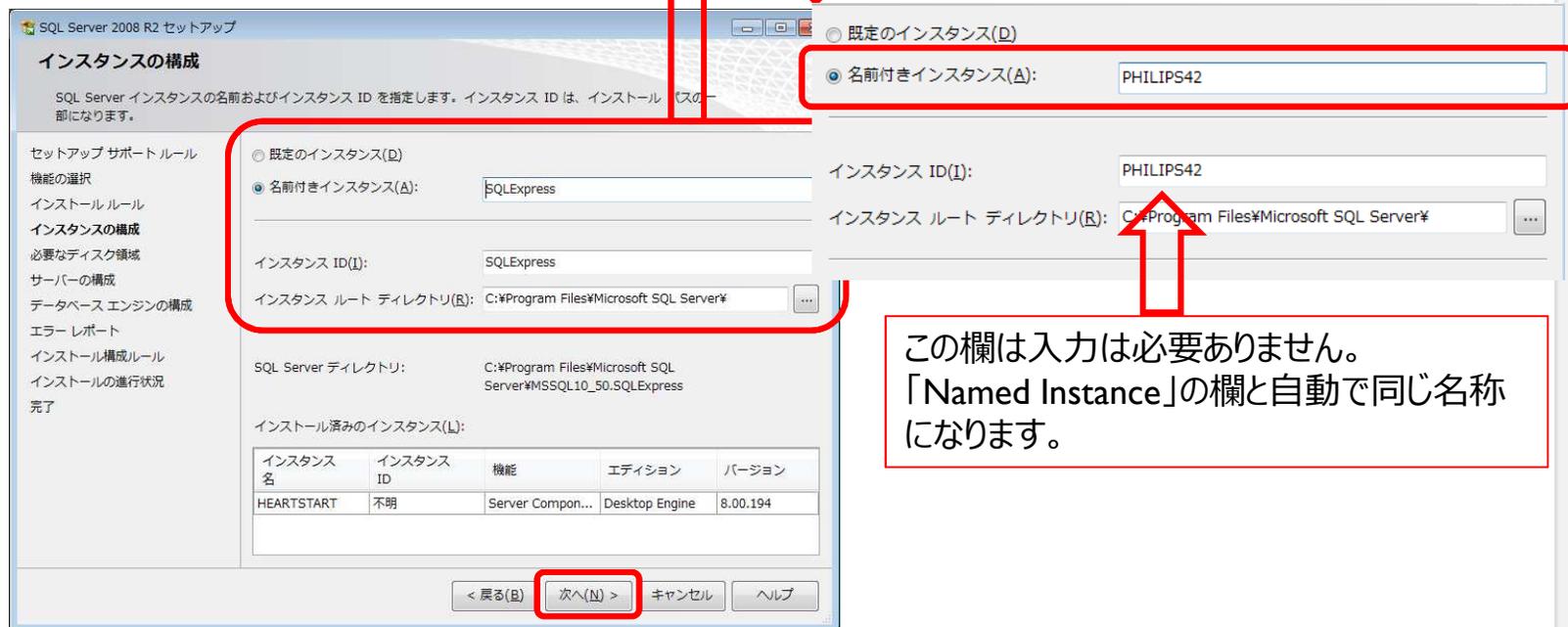
- 下記画面でチェックマークを2箇所入れて、「次へ」をクリックして下さい。



右図の画面では「すべて選択」をクリックして、「次へ」をクリックして下さい。



- 下記画面が表示されたら「名前付きインスタンス」を選択し、「PHILIPS42」と入力し「次へ」をクリックして下さい。



SQL Server 2008 R2 セットアップ

### インスタンスの構成

SQL Server インスタンスの名前およびインスタンス ID を指定します。インスタンス ID は、インストールのパスの一部になります。

セットアップ サポート ルール  
機能の選択  
インストール ルール  
インスタンスの構成  
必要なディスク領域  
サーバーの構成  
データベース エンジンの構成  
エラー レポート  
インストール構成ルール  
インストールの進行状況  
完了

既定のインスタンス(D)

名前付きインスタンス(A): PHILIPS42

既定のインスタンス(D)のフィールド: SQLExpress

インスタンス ID(I): PHILIPS42

インスタンス ルート ディレクトリ(R): C:\Program Files\Microsoft SQL Server\

既定のインスタンス(D)のフィールド: SQLExpress

インスタンス ID(I): SQLExpress

インスタンス ルート ディレクトリ(R): C:\Program Files\Microsoft SQL Server\

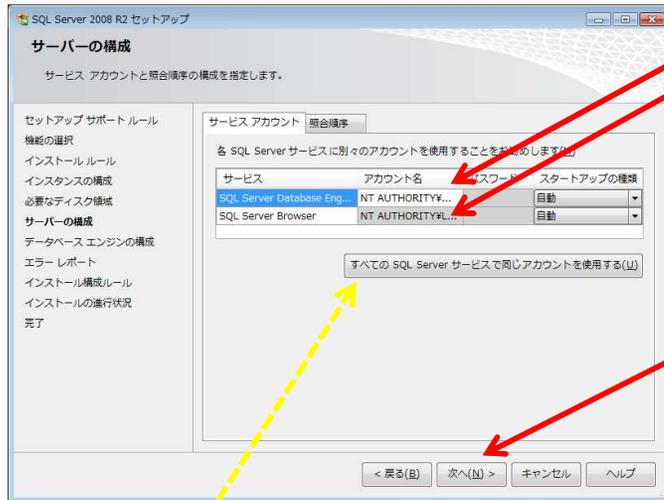
SQL Server ディレクトリ: C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL10\_50.SQLExpress

インストール済みのインスタンス(L):

インスタンス名	インスタンス ID	機能	エディション	バージョン
HEARTSTART	不明	Server Compon...	Desktop Engine	8.00.194

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル ヘルプ

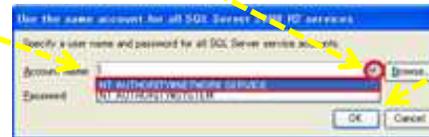
この欄は入力はありません。「Named Instance」の欄と自動で同じ名称になります。



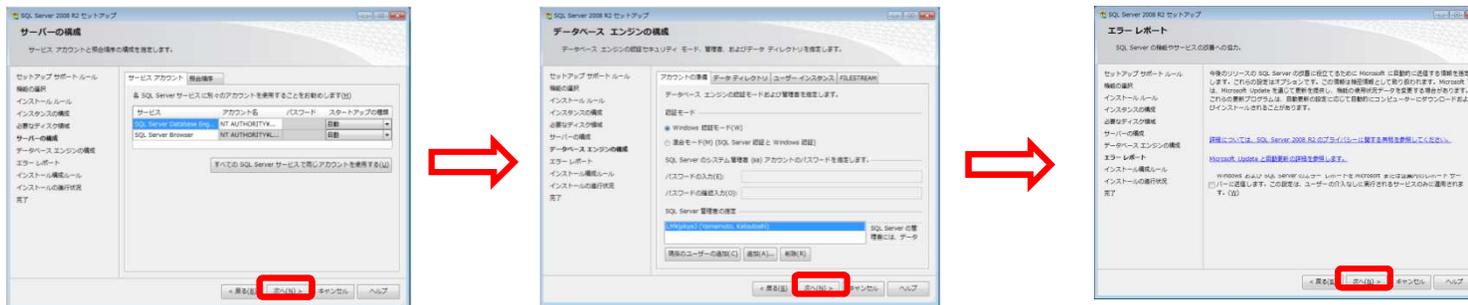
「NT AUTHORITY ¥ NETWORK SERVICE」であることを確認し、「次へ」をクリックします。

※もし、「NT AUTHORITY ¥ NETWORK SERVICE」が表示されていない場合は、下記をご参照下さい。

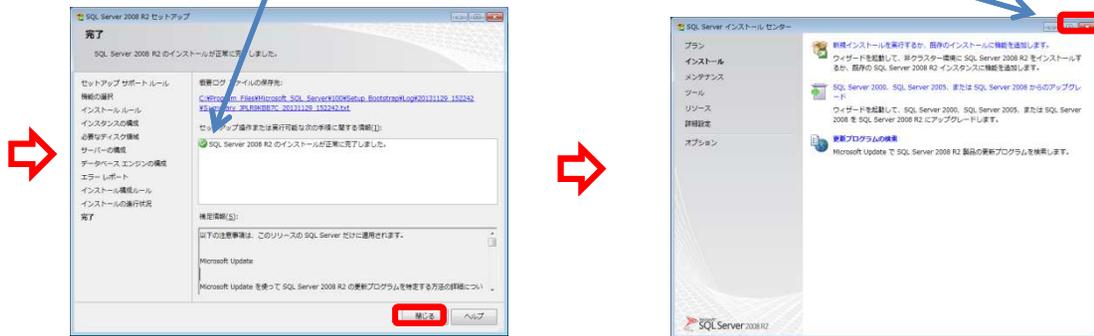
「すべてのSQL Serverサービスで同じアカウントを使用する」をクリックすると、画面がポップアップされます。アカウント名の欄で▼をクリックし、「NT AUTHORITY ¥ NETWORK SERVICE」を選択、パスワードは空欄のまま「OK」をクリックします。



- これ以降は全てデフォルト設定のまま「次へ」をクリックして下さい。

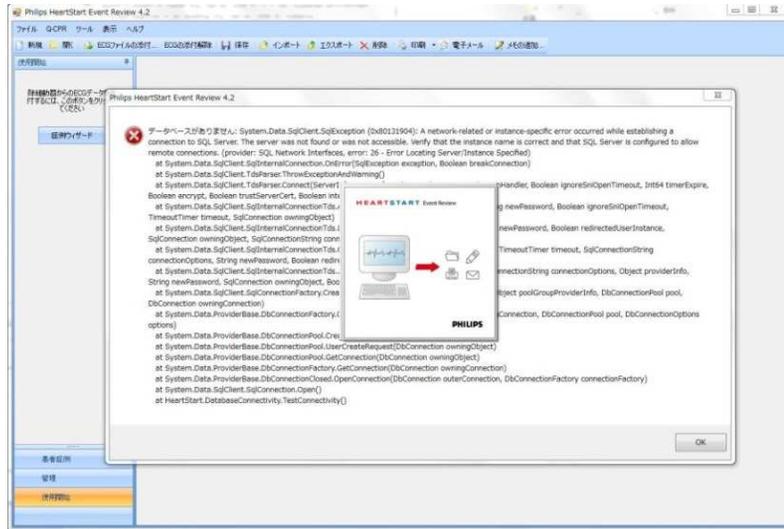


- 下記画面で緑のマークが表示されれば、SQL 2008 Express R2はインストール完了になります。「×」をクリックし、ウィンドウを閉じ、PCを再起動して下さい。



## Event Review 4.2 のインストール

- PCの再起動後に**Event Review 4.2 のインストール**を行って下さい。
- インストール後はPCを再起動して、Event Review 4.2 を起動して下さい。
- 再度アクティベーションが必要な場合がございます。お手元のシリアル番号をご利用ください。「既に使用中」という旨のメッセージが表示される場合は弊社HelpDesk宛にお電話かメールにてシリアル番号をお伝えください。
- ここで以前と同様のエラーが表示される場合は、ご連絡頂けます様お願い申し上げます。



レールダル ヘルプデスク

Tel: 0120-993-559

受付時間: 月～金 9:00～17:30

土・日・祝日、年末年始、及び弊社  
指定休業日を除く

Email: [HelpDesk@laerdal.co.jp](mailto:HelpDesk@laerdal.co.jp)

— 以 上 —